

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2022年 7月 29日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 東京都港区海岸一丁目7番1号	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） ソフトバンク株式会社 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮川 潤一

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2004
適 用 範 囲	A事業所
導 入 年 月 日	2007 年 8月 20日
認 証 番 号	EMS81966
基 本 方 針	私たちは、地球環境の保全が世界共通の重要課題であると同時に、企業市民としてのソフトバンクと、それを構成する私たち社員一人ひとりの責務でもあると考えています。こうした認識のもと、2007年8月に「環境行動指針」を定め、環境保全への体系的な取り組みを推進しています。ソフトバンク株式会社（以下「弊社」という）は、電気通信事業を通して地球環境の維持・保全に積極的 に 取 組 み、持 続 可 能 な 社 会 の 継 続 的 発 展 に 貢 献 し ま す。弊社は、事業活動の 推 進 に お い て、環 境 保 全 に 関 す る 諸 法 規 お よ び そ の 他 の 要 求 事 項 を 遵 守 し ま す。弊社は、環境マネジメントシステムにより、事業活動における環境負荷を 低 減 し て 行 く た め、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等について環境目標を 設 定 し、継 続 的 な 改 善 に 努 め ま す。弊社は、事業用機器や物品の調達に当 た り、環 境 に や さ し い グ リ ン 調 達 を 推 進 し ま す。弊社は、環境負荷低減に資す る ネ ッ ト ワ ー キ ン グ 技 術 の 開 発 や ネ ッ ト ワ ー キ ン グ サ ー ビ ス の 提 供 に 努 め、社 会 全 体 の 省 エ ネ ル ギ ー 化 に 貢 献 し ま す。弊社は、社員への環境教育に努めると と も に、弊 社 の 環 境 に 関 す る 情 報 を 社 内 外 へ 公 表 し、コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を 図 り ま す。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための 目標（以下「目標」という。）	・電力の省エネルギー原単位： 前年比1%削減 ・ガソリン使用量： 監視 ・産業廃棄物の処理方法： 遵守 ・廃フロン類の処理方法： 遵守
目 標 を 達 成 す る た め の 取 組 の 内 容	・省エネルギー（CO2） 室内温度の適正化、空調室外機の日除、室内照明の間引き、未使用設備の電源OFF等 ・省資源（紙） 会議配布資料の削減、プロジェクタの利用促進、リサイクル処理 ・省資源（ガソリン） 社用車の利用削減、エコドライブ、アイドリングストップ励行 ・廃棄物排出量の削減 保守材料のリユース促進 ・空調器室外機の洗浄(毎年6月実施) ・テレワーク(在宅勤務)の推奨
目 標 を 達 成 す る た め の 取 組 の 進 捗 状 況	・省エネルギー（CO2） 室内温度の適正化継続実施中、空調室外機の日除、室内照明の間引き、未使用設備の電源OFF実施済み ・省資源（紙） 会議配布資料の削減、プロジェクタの利用促進、リサイクル処理継続実施中 ・省資源（ガソリン） 社用車の利用削減、エコドライブ、アイドリングストップ励行継続実施中 ・廃棄物排出量の削減 保守材料のリユース促進継続実施中 ・フロン 排出漏洩量管理 ・空調器室外機の洗浄(毎年6月実施) ・照明、外灯のLED化を 実施済（2021年3月）
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・エネルギー効率のより良い携帯電話サービス用設備への切替・更新が進み基地局設備の増設が進むため、エネルギー使用量とCO2排出量は増加傾向となったが、原単位当たり排出量を減らせるよう、目標達成に向けて活動を進める。 ・各種取り組みにより、従業員に省エネ意識が浸透している。
事 業 活 動 に 係 る 法 令 の 遵 守 の 状 況	法令で定められた測定や報告については年間計画として漏れなく実施している。 これまでに違反や行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	現行の取り組みにより一定の成果が見られていることから、同一のシステムにより運用している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。